

令和5年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(国語)

准教授 宮田 航平

取組状況

教育	<p>1. 小テストとスピーチ・口頭発表の実施 「国語Ⅰ」(第1学年)において、定期的に小テストを実施することで、第1学年の学生が物事を理解・表現するのに必要な語句の定着を図った。またスピーチや口頭発表の機会を定期的に設けることで、話し言葉の特徴や役割を実践的に理解し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」にかかわる言語表現力を、実践的に養成した。</p> <p>2. AL教材の開発と授業実践 「国語Ⅰ」(第1学年)、「日本語表現法Ⅰ」(第4学年)において、シラバスに記載した到達目標を達成するために、主体的・対話的で深い学びを促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの学習活動を軸に授業を構成した。また国語に苦手意識を持つ学生も段階的な理解が得られるよう、発問や助言にも工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。</p>
研究	<p>1. 「『びわの実学校』は「現代児童文学」を語るか——《童話の柱》を視座として」(日本児童文学学会2023年度6月例会、武蔵野大学、2023年6月10日)</p> <p>2. 「車のいろは空のいろ」はなぜ「更新」されたか——「三巻本」と「四巻本」の成立をめぐる——(あまんきみこ研究会第11回研究会、玉川大学、2023年9月23日)</p> <p>3. 「詩と絵本のことば——林木林さんに聞く」(日本児童文学学会第62回大会、武蔵野大学、2023年11月10日)</p> <p>4. 「国語関連科目における「中小企業家経営塾」の実践報告」(2023年度産学連携協議会、東京都立産業技術高等専門学校、2023年12月15日)</p> <p>5. 「浜本純逸著、浜本純逸初期論集編集委員会編『戦後国語教育を歩み拓く——浜本純逸初期論集——』(渓水社)」(『国語教育史研究』2024年3月)</p> <p>6. 日本学術振興会科学研究費助成事業「戦後児童出版メディアにおける「童話」の編成——戦前・戦中期との関わりから」(若手研究、2020～2024年)研究代表者</p> <p>7. 日本学術振興会科学研究費助成事業「国語科教育における「近代童話／童謡」の再評価と新教材の発掘をめぐる調査研究」(基盤研究(C)、2022～2026年)研究分担者</p>
社会貢献	<p>1. OPC小中学生対象講座「中学生のための小論文講座」(企画・講師、全2回、2023年8月)</p> <p>2. 日本児童文学学会(運営委員・評議員)</p> <p>3. あまんきみこ研究会(会計・会務委員)</p> <p>4. 国語教育史学会(運営委員)</p> <p>5. 三省堂高等学校国語教科書編集委員会(編集委員)</p>